

# 精華町教育委員会議事録

平成29年（第2回）

1 開 会 平成29年2月24日(金) 午後1時30分  
閉 会 平成29年2月24日(金) 午後4時00分

2 出席委員 太田教育長 中谷委員 細川委員  
松本委員 新司委員 (欠席委員なし)

3 欠席委員 なし

4 出席事務局職員

岩崎教育部長 北澤総括指導主事  
竹島学校教育課長 仲村生涯学習課長  
山崎学校教育課主幹

5 傍聴者 なし

6 議事の概要

(1) 開会

教育長から第2回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回議事録について

教育部長から平成29年第1回教育委員会の議事録について説明。

**【採 決】**

・全員承認

(3) 教育長報告事項

前回に引き続き学期制の在り方について、その後の動きを報告させていただく。学期制については、1月20日から2月17日までの間パブリックコメントを実施し、全11件の意見をいただいた。結論から述べると、1件だけ明確な反対意見があり、その他については賛成意見であると受けとめている。

この後、3月10日に3回目の学期制の在り方の懇談会を開催し、最後

のまとめを行い報告書をいただく予定。その後、3月下旬に町長と教育委員との総合教育会議で、この点をテーマにして調整を行う予定である。そして3月末の定例教育委員会で審議いただき、教育委員会としての方針を決定していきたいと考えている。

**【事務局から補足説明】**

総括指導主事           パブリックコメントで意見のあった合計11件のうち、特徴的なものや、多かった意見について説明する。

1番目の賛成の方からは、夏休み明けにテストが実施されるため、子どもは大変であるといった意見や、夏休み明けのテスト後すぐに運動会が開催され、練習があまりできないといった意見があり、夏休み明けが非常に過密になるため負担がかかるといった内容であった。

3番目の賛成の方からは、小学生から3学期制での生活に慣れており、中学校も引き続き3学期制でスタートできたほうが新しい環境にスムーズに慣れやすいと考えられ、また高校では3学期制を布いている学校が多いと聞くので、中学校だけ2学期制とする必要性は感じられないとの意見があった。この方は、生徒の意見も集約しており、子どもの意見としても何点か出している。特に、テスト範囲が広いので勉強しにくい事、試験の回数が少ないので成績が悪かったときに挽回できる機会が少ないと子どもは感じているようである。4番目以降の方々についても、おおむねこれらの意見に集約される。

9番目の方については、3学期制に対して反対意見を出されており、これまでの2学期制のゆとりの部分をしっかり理解頂いていた内容であると思われる。教育委員会の考えとしては、そのゆとりの部分を、3学期制になっても良いところは継承しながら進めたい旨を示している。

11番目の方からは、夏休みの短縮について2学期の開始を早めなくてもよいといった意見であったが、ゆとりを持った学校生活を送ったり、教育課程を組むには短縮が良いという方向での工夫を考えている。いろいろシミュレーションし

ながら、今後どれだけ短縮するかについて検討していきたい。  
何れにせよ、何らかの形で9月始まりを少し早めて実施する  
方向には変わらない。

**【委員の意見等】**

中 谷 委 員 中学校の先生方の反応はどのようなであったか。

総括指導主事 2学期制及び3学期制のそれぞれのメリット、デメリットについては、これまでから話をできており、教師も理解している。2学期制の良かった点をうまく伸ばしながらやっていたかなければならないなということで交流しており、現在、教務主任を中心にシミュレーションしながら良い形で進めればと、前回の2学期制推進委員会で述べたところである。

太 田 教 育 長 校長会で議論した中では、夏休みを短縮する所までは理解してもらっているが、どのように夏休みを短縮するかの考えについて小中学校では相違があるため、最終的には教育委員会に任せってもらうこととなった。

細 川 委 員 この2学期制で生まれたゆとりの部分に関して、3学期と違って良かったと感じるのは、1年生の夏休みの過ごし方であると思う。学校の定期テストに慣れていない中で、1学期の中間テストが3学期制よりも遅く始まるので、それまでに定期テストに対する勉強の仕方について指導してもらえる時間が確保される。また、中間テストがあり、その成績に対し夏休み前に面談が行われ、9月初めの試験に向けての勉強法を指導されるなど、きめ細かな指導が一番のメリットであったかと思う。2年生、3年生になると、子どもたちも試験に慣れていくのだが、前倒しする際の懸念事項を挙げるとすれば、1年生に対する指導であると思う。夏休みの過ごし方や定期テストに対する勉強の仕方、取り組み方等について、今後も指導を密にしてもらえればカバーできると思う。

松 本 委 員 保護者の意見も踏まえた上で、中学校の教職員から3学期制に対する強い反対等もないとの事であるので、子どもた

ちにとってもメリットが多く、3学期制の方が良いのではという思いである。

新 司 委 員        これまでの2学期制の良いところは引き継ぐとの事であったが、その言葉に尽きると思う。

中 谷 委 員        3学期制から2学期になり、もう一度3学期制に戻るということであるので、良さを最大限に引き出すと同時に、2学期の課題をどうすれば克服できるかは腕の見せどころだと思う。中学生の生活が楽しくなるような3学期制になればよいと思う。中身が問われると思うので、1年間十分に時間をかけてもらいたい。

#### (4) 議決事項

議案第1号 平成29年度小・中学校校長及び教頭に係る人事異動の内申について

個々の具体的な事象については、個人情報に関する内容であり、精華町教育委員会会議規則第16条の規定により非公開とすることができるため会議に諮られ、「異議なし」としてこの議案については非公開となった。

議案第2号 平成28年度精華町議会定例会3月会議提出議案に係る意見聴取について（平成28年度精華町一般会計補正予算（第8号））

教 育 部 長        【提案説明】

学校教育課における各事業費の確定に伴う歳出予算の減額などであり、2,670万円余りの減額ということで提案するものである。なお、生涯学習課については補正計上なしである。

（採決 — 全員挙手により原案どおり決定）

議案第3号 平成28年度精華町議会定例会3月会議提出議案に係る意見聴取について（平成29年度精華町一般会計予算）

教 育 部 長        【提案説明】

平成29年度精華町一般会計予算について、教育費の歳出総

額が13億2,136万1,000円である。内訳については、学校教育関係が10億1,480万円社会教育費と保健体育費の2つで3億656万1,000円である。ただし、学校給与費については保健体育費として計上しているので、学校教育関係であっても、一部、生涯学習課関係経費として計上している。

平成29年度一般会計の予算規模は精華町の総額で137億1,000万円で、教育費の占める割合は約9.6%である。

松本委員 情報アドバイザー1名はどのような業務を行うのか。

学校教育課長 小学校の授業支援として、コンピュータを活用する授業の際に、先生の授業準備や、授業中での先生のフォロー、子どもたちへ操作の支援を行っている臨時職員である。このほか、校務支援やネットワーク管理等を委託しており、29年度も同様に予算計上している。

松本委員 町単費で看護師を8名配置しているが、内容を教えてほしい。

学校教育課長 校外学習や修学旅行の際に養護教諭が同行しており、その間保健室に専門の先生が不在になることから、その対応として各学校の必要分の賃金を計上している。これは28年度から予算化されているものである。

松本委員 学習支援員配置事業で排せつ介助、教室移動の介助と記載されているが、現在該当する子どもが在学、または入学予定なのか。

学校教育課長 障がいがある子どもに対する介助について、各校から提出される要望から各校何名という形で予算計上している。

中谷委員 林間学習も陸上交歓記録会も5年生が対象であるが、当初陸上交歓記録会は6年生も参加しており、修学旅行含め行事の負担や授業時数の関係で対象を5年生のみとした経過があったと思う。今後、英語教科等も増え授業時数云々を考えた際には行事関係についても課題になってくると思う。

中谷委員 学校訪問で課題に挙がっていたトイレの尿石除去について、是非とも全小学校、全中学校実施出来ればと思う。

細川委員 薬剤の効果はどうであったか。

学校教育課長 匂いが軽減され、掃除しやすくなったとの事である。併せて

長期休暇時に専門業者による清掃が出来ればと思っている。

学校教育課長 空調設備の件について、中学校では29年度で工事を実施し30年度から稼働の予定である。一方、小学校については、現在設計の仕上げ段階に入っており、3月中には設計を仕上げる予定である。それを受けて工事を行う運びとなるが、財源の見通しが立っていないのが現状である。事務的には平成30年度の国の補助金を受けるため、29年度に計画書を提出する予定。採択されれば29年度の中学校に引き続き30年度の予算に計上して工事を実施し、31年度から稼働する予定である。最短でこういった形でのスケジュールを考えている。

教育部長 この間、町長を筆頭に、教育長、幹部の面々についても様々な場面で財源の確保に奔走している。これについては議会でもいろいろと活動もしていただいているところである。小学校への空調設置は必要であると町長も十分認識いただいております、何としても実施をしていきたいと考えているので、ご支援、ご理解いただきたい。

中谷委員 給食について、残留農薬検査等とあるが、どのような形で実施していくのか。

学校教育課主幹 一般市場では抜き打ちで検査を行われており、さらに輪をかけて検査、サンプリングさせていただき調査を行っている。特に「検出せず」や「規制値以内」という判定で今まで来てるので、安心、安全な部分が保たれた給食が提供できていると思っている。

(採決 ー 全員挙手により原案どおり決定)

議案第4号 平成29年度精華町学校教育・社会教育指導の重点について

教育部長 【提案説明】

今年度の指導の重点については、大きな修正点や改正点という事はなく、字句訂正あるいは文言の整理に若干の加筆修正を加えた程度であり、章立ては大きく2つから構成をしている。1つは学校教育指導の重点、2つには社会教育指導の重点であ

る。また、資料として「せいか学びと育ち」プランも添付している。

総括指導主事 28年度から29年度にかけて変更した主な点について説明する。学校教育指導の重点について、「はじめに」では、これまで主体的、協働的な学習ということでアクティブ・ラーニングのような文言がよく使われていた。しかし、今年度2月14日に学習指導要領の改訂案が出されたが、その中ではアクティブ・ラーニングという文言は使われておらず、能動的な学習については、「主体的、対話的で深い学び」という表現になっているので、本町においても表現を変更した。

社会教育指導の重点については、「学研都市を活かした教育の推進」に、今年度ふるさとの魅力づくりとして取り組んでいるデジタルミュージアムを新たな項目として追加した。

資料の「せいか学びと育ち」プランについては、各指導の重点の計画事業をまとめたものである。28年度からの変更点としては、デジタルミュージアムの取り組みの推進を追加、親のための応援塾に関して文言整理を行った。

太田教育長 指導の重点は、毎年度の学校教育、社会教育それぞれ方針を示した基本的な文書であり、教育委員会の議決事項としている。学びと育ちプランは、事業を体系立てて整理したものであり、事務局で作成したもので、あえて教育委員会では議決事項とはしていないため、指導の重点に関して議論いただきたい。

細川委員 アクティブ・ラーニングという文言はどういった経緯で使用されなくなったのか。

総括指導主事 アクティブ・ラーニングは、多義的な言葉で概念が確立していないため使用できないとの事である。

(採決 — 全員挙手により原案どおり決定)

#### (5) 事務局からの諸報告

教育部長 1 平成29年度施政方針について

3月会議に提出予定の平成29年度施政方針の特に教育関

係部分の概要について説明する。

基本方針の中で、「教育の分野では、総合教育会議を通じて平素から教育委員会と私が連携協力できるよう努めます。食育の推進や中学校給食の導入を目的とした学校給食基本構想の策定と中学校給食の早期実現が図られるよう、引き続き財源確保に取り組みます。「科学のまちの子どもたち」プロジェクトを積極的に推進するため、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）を活用した活動拠点の整備などに取り組みます。また、悩みや課題を抱える児童生徒一人一人に寄り添った教育の実現を目指し、いじめ防止対策の推進や特別支援教育の充実を図るなど、こどもを守る町にふさわしい教育のまちづくりを行政一丸となって進めてまいります」と、教育委員会と一体となった取り組み推進を表明されている。

主な施策では、未来をひらく文化と環境のまちづくりの①学校教育と②生涯学習で、平成29年度に実施をする教育委員会関係の主な事業の内容が記載されている。

教育部長 2 3月会議に提案予定の教育委員会関係議案について

議案第2号、精華町教育委員会委員の任命同意を求めることについて、岡島純子様を新たに教育委員として任命同意を求める件である。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

「学校管理下の生徒間問題事象」が1件、「金銭物品盗」が1件の計2件であった。不登校については12名であった。12月の8名から、冬休み明けという事で若干増加した。各学校とも再度、家庭訪問等、家庭と連絡を取りながら取り組んでいるところである。

(2) 中学校

問題事象の報告は一切なかった。不登校については28名であり、休み明けという事で12月の26名より増加した。

総括指導主事 2 授業の様子を映したテレビ番組放送について

精華西中学校の3年生の音楽の授業で「旅立ちの日に」という歌を、卒業式に向けて一生懸命練習している。そこで、関西テレビの「みんなのニュースワンダー」が取材に来て、授業の様子を放映するとのことで聞いており、今日の18時20分から、18時半の間に、中学3年3組のクラスに取材が入り、頑張っている様子が映されるとのことで、全庁的に案内を行っている。

- 学校教育課長 1 精華町学校給食基本構想策定に向けた住民アンケート調査について

平成29年度に学校給食の基本構想を策定する予定であり、その前段として、平成28年度は基礎調査として住民の方2,000名を無作為に抽出し住民アンケートを行っている。2月9日に配布しており、本日が提出の締め切り日である。今朝の時点では733名からの回答があり、回答率36.7%と40%までには達しないと思われる。今後、3月中に集計を行い、ある程度まとまってきたら、この場で報告させてもらう。

来年度100万円の予算を計上しており、中学校給食と学校給食全体の充実、食育の充実の視点で基本構想をまとめていきたいと考えている。

- 学校教育課長 2 第10回精華町教育美術展の開催について

3月17日から21日までの5日間で第10回精華町教育美術展の実施を予定している。精華町役場の交流ホールで朝9時から夕方5時まで実施しているので、時間があれば鑑賞いただきたい。

- 生涯学習課長 1 精華町少年少女合唱団第11期生の募集案内について

少年少女合唱団については、団員が休部の方含め40数名おり、今年7名が卒団されると聞いている。第11期生の募集についてはチラシを既に各学校を通じて配布している。

また、3月26日に卒団式と定期演奏会を行う予定である。興味のある子どもがおられたら、声掛けをお願いしたい。

- 生涯学習課長 2 精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員会設置要綱

の一部改正について

指定管理に関して、毎年評価委員会というのを設けており、ここでは一年間の評価をしてもらう委員会であるが、人数が3名ということでちょっと少ない委員会構成になっている事に対し指摘を受けたので、4人まで評価委員に加わることができるという形に改正した。

生涯学習課長 3 精華町教育委員会所管施設指定管理者選定委員会設置及び運営要綱の一部改正について

選考委員会のメンバーに教育委員会側の者が入っている委員会はいかかなものかといった指摘があったので、「スポーツ推進委員」を「スポーツ活動にかかわる者」と改正した。同じく、「文化協会関係者」を「文化活動に関わる者」に改めた。

また、「学校教育関係者」は施設の管理運営に関与していない部分があるので省いた。そして、選考する側である「教育部長」が選考委員に入っているのはどうなのかとの指摘があり、「前各号に掲げる者のほか、教育長が必要と認めた者」に改正した。したがって、できるだけ広く、公平さを保つような改正を行っている。

生涯学習課長 4 第3回目の指定管理評価委員会の結果について

指定管理の評価委員会は年2回程度開催されるが、来年度が選考の年になるので、今まで通りの評価ではなく、指定管理者制度にむくのきセンター及び体育施設を移管させていることが妥当なのかどうかに対して第3回目の指定管理評価委員会を開き審議を行った。結果については、今後も指定管理を続けるべきであるとの評価であった。したがって、内容についてはいろいろ指摘事項があるが、この結果に基づき、次年度選考を改めて指定管理導入に向けた動きをしたいと考えている。

生涯学習課長 5 平成28年度精華町民文化賞・スポーツ賞について

中谷委員にも参加いただき、平成28年度精華町文化賞、スポーツ賞の選考を行った。15件の審査があったが、そ

のうちの10件の個人及び団体の方々が受賞した。5件の方については、審査の結果該当しなかった。

生涯学習課長 6 少年の主張大会について

青少年健全育成協会の相楽の「少年の主張」大会が2月19日に開催され、精華台小学校6年、大野優衣さん、精華南中学校2年、吉岡実夢さんの二人が参加した。

結果は残念ながら奨励賞とのことで、最優秀賞には至らなかった。

【委員の意見等】

松本委員 前回の教育委員会で出たように、先生方の超過勤務について、昔に比べ小学校でも遅くまで仕事をしている。今後英語を盛り込まれたりすることで、超過勤務が増え、今よりも負担になるであろうと思う。それらを軽減するような方策を考えていかないといけないと思う。

太田教育長 国や京都府教育委員会でも、教員の過重負担に関しては問題意識としてかなり強く持っている。今後どのようにしていくかは重要な課題だと感じており、教育委員会においても議論していきたい。

中谷委員 小学校であれば8教科ないし9教科授業しないといけない中で、授業のノウハウ等を職場の中で出し合ったり、話し合ったりすることで、超過勤務が減るとは限らないが、1つのアイデアをもらうことにより、やる気、時間の使い方に影響すると思うので、そういった職場の雰囲気づくりや工夫をしていかないといけないと思う。

教育部長 世間では今日からプレミアムフライデーというものもあり、働き方改革ということで、近々また経済界、労働界のトップが会談をされるといったこともある。本町でもこの1年間、今まで継続的に安全衛生委員会で行ってきたことをより充実させていこうとのことで、4月以降校長会や教頭会で大分話もさせていただいている。その中で、中谷委員からもあったように、それぞれの学校で持っているノウハウを持ち寄り、良いところは取り入れて一つでも前に進めていったり、ある

学校ではノー残業デーを設けている所もあり、なかなか中学校は部活動こともあり難しいとは思いますが、文部科学省も方向性を示しているので、引き続き取り組みを進めてもらいたいと思っている。それについては、教育委員会の事務局としても提案していきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

細川委員 海外の学校や企業では、専門的な仕事に就く人に関しては事務的なフォローをする人が必ずついているらしいが。今後、先生方の負担を軽減するアイデアの一つとして、事務職員の活用をいろいろ考えていければと思っている。

太田教育長 事務職員含め全体で学校を運営していくということも重要ではないか。教育長会議等でも事務職員の政策機能を上げていく事が提起されてきており、事務職員の機能強化について具体化を図っていく事が必要と考えている。

中谷委員 担任にとって学級が荒れたときの大変さはとても耐えがたいものである。そういうことのないようにという意味で、学校全体が透明化を図らないといけないと思う。指導の重点をもって、学級経営も含め、自分の思っている事を出し合う事が結局は学校の透明化にもなるし教室の透明化にもなる。工夫を出しあい、それを吸い上げていくというものがないと、大きく前進していかないと感じる。

#### (7) 後援関係

1月から2月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数8件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が8件、うち社会教育係関係が6件、図書係は0件、社会体育係関係は2件。

#### (8) 3月の行事予定

#### (9) 閉会

教育長が第2回教育委員会の閉会を宣言。